

クリーンセンター滋賀の搬入実績について

1. 経年変化

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度※
搬入量(t)	25,195	20,234	35,275	50,251	27,667
搬入車数(台)	2,606	2,865	4,669	7,919	5,010

備考(※) H24年度はH25年2月末までの搬入実績

2. 平成23年度の搬入実績

- ・搬入車両台数延べ7,919台、50,251 t の廃棄物等の埋立処分を実施。
- ・管理型の廃棄物(金属くず・がれき類・ガラス陶磁器くず・ゴムくず・廃プラスチック類・石綿含有廃棄物以外の廃棄物をいう。)が、全体の約75%を占めており、廃棄物以外の残土は15%であった。
- ・特に、燃えがら、建設系混合廃棄物、廃棄物以外の残土の搬入が多かった。

燃えがら：焼却灰の他、石炭がらが混じった土壌を含む。

殆どが特定の工事現場から搬入。

建設系混合廃棄物：産業廃棄物中間処理業者からのリサイクル後の混合廃棄物や不法投棄廃棄物など

殆どが特定の中間処理業者(5社)からの搬入。

廃棄物以外の残土：工場敷地内等の調査によって判明した汚染土壌。

殆どが特定の工事現場(2社)からの搬入。

3. 平成24年度(2月まで)の搬入実績

- ・搬入車両台数延べ5,010台、27,667 t の廃棄物等の埋立処分を実施。
今年度は、下半期の第2-1期建設工事の実施により、搬入制限を行っていること等から、2月末までの搬入量は、H23年度同期の搬入実績の約60%になっている。
- ・品目別では、建設系混合廃棄物の搬入割合が高くなっている。
- ・搬入量について、H23年度の同期と比較すると、特定の工事現場からの搬入において、燃えがらがH23年度で終了し、廃棄物以外の残土も今年度9月に終了したことから、大幅に減少している。建設系混合廃棄物も減少傾向にある。
廃石膏ボードは搬入量は少ないものの、H23年度より増加している。

参 考

第1期の埋立容量	205,800 m ³
平成24年3月末の残容量	56,832 m ³
平成23年度埋立容量	64,214 m ³